

第 22 回 日本冠疾患学会 論文賞

2020 年 11 月
行賞委員会委員長 小林 順二郎

2019 年の英文誌 1～4 巻、和文誌 1 巻に掲載された論文より、日本冠疾患学会論文賞の審査が行われ、下記の通り最優秀論文賞が決定いたしました。

昨年までは原著論文のみを対象とし、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名を顕彰しておりましたが、今年からは症例報告も対象として、原著論文・症例報告それぞれより最優秀賞 1 名の顕彰といたしました。

例年、学術集会にて表彰式を執り行っておりましたが、今年は学術集会の開催がありません。この場をもって表彰するとともに会員の皆様へご報告いたします。

●原著論文 最優秀賞

Effects of using Different Reconstruction Algorithms on Coronary Motion Artifacts at Various Heart Rates during Coronary CT Angiography: A Phantom Experiment

筆頭著者：福井利佳（東京女子医科大学東医療センター 放射線科）

掲載誌：Journal of Coronary Artery Disease Vol. 25 No.4

●症例報告 最優秀賞

Coronary Stent Implantation Poses Lifelong Risk of Severe Infection or Even Death

筆頭著者：三ッ田翔平（岐阜大学医学部附属病院 高度先進外科）

掲載誌：Journal of Coronary Artery Disease Vol. 25 No.4